

インマヌエル中目黒キリスト教会

2016年8月7日聖日礼拝

エステル記連講(6)

「眠れぬ夜の不思議」

エステル記

6章1節 ~ 14節

竿代照夫牧師

聖書朗読 旧約聖書

エステル記 6章1節～14節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会)を使用しています
第二版の聖書は 772 ページ
第三版の聖書は 843 ページ

- 1 その夜、王は眠れなかったもので、記録の書、年代記を持って来るように命じ、王の前でそれを読ませた。
- 2 その中に、入口を守っていた王のふたりの宦官ビグタナとテレシュが、アハシュエロス王を殺そうとしていることをモルデカイが報告した、と書かれてあるのが見つかった。
- 3 そこで王は尋ねた。「このために、栄誉とか昇進とか、何かモルデカイにしたか。」王に仕える若い者たちは答えた。「彼には何もしていません。」

- 4 王は言った。「庭にいるのはだれか。」
ちょうど、ハマンが、モルデカイのために準備した柱に彼をかけることを王に上奏しようとして、王宮の外庭に入ってきたところであった。
- 5 王に仕える若い者たちは彼に言った。「今、庭に立っているのはハマンです。」王は言った。「ここに通せ。」
- 6 ハマンが入ってきたので、王は彼に言った。「王が栄誉を与えたいと思う者には、どうしたらよかるう。」そのとき、ハマンは心のうちで思った。「王が栄誉を与

えたいと思われる者は、私以外にだれがあるう。」

- 7 そこでハマンは王に言った。「王が栄誉を与えたいと思われる人のためには、
- 8 王が着ておられた王服を持って来させ、また、王の乗られた馬を、その頭に王冠をつけて引いて来させてください。
- 9 その王服と馬を、貴族である王の首長のひとりの手に渡し、王が栄誉を与えたいと思われる人に王服を着させ、その人を馬に乗せて、町の広場に導かせ、その前で『王が栄誉を与えたいと思われる人は

このとおりである』と、ふれさせてください。」

10 すると、王はハマンに言った。「あなたが言ったとおりに、すぐ王服と馬を取って来て、王の門のところにすわっているユダヤ人モルデカイにそうしなさい。あなたの言ったことを一つもたがえてはならない。」

11 それで、ハマンは王服と馬を取って来て、モルデカイに着せ、彼を馬に乗せて町の広場に導き、その前で「王が栄誉を与えたいと思われる人はこのとおりであ

る」と叫んだ。

12 それからモルデカイは王の門に戻ったが、ハマンは嘆いて、頭をおおい、急いで家に帰った。

13 そして、ハマンは自分の身に起こった一部始終を妻ゼレシュとすべての友人たちに話した。すると、彼の知恵のある者たちと、妻ゼレシュは彼に言った。「あなたはモルデカイに負けかけておいでですが、このモルデカイが、ユダヤ民族のひとりであるなら、あなたはもう彼に勝つことはできません。きっと、あなたは

彼に負けるでしょう。」

14 彼らがまだハマンと話しているうちに、
王の宦官たちがやって来て、ハマンを急
がせ、エステルの設けた宴会に連れて
行った。

説教

エステル記連講（6）

「眠れぬ夜の不思議」

エステル記

6章1節～14節

竿代照夫牧師

主テキスト

その夜、王は眠れなかったので、
記録の書、年代記を持って来る
ように命じ、王の前でそれを
読ませた。

(エステル 6 : 1)

1.(前回の要約)大胆な接近(5章)

- ・禁令に背いて王に接近
- ・しかし、王の好意を得る
- ・宴会に招待
- ・ハマンの怒りと悪意

2.眠れぬ夜の不思議(1～4節)

- ・王の不眠
- ・王室日誌の朗読
- ・モルデカイの記事
- ・無表彰を知る
- ・「表彰を今」と考えた
- ・ハマンの早朝出仕
- ・すべてに、神のご配剤の素晴らしさを見る

3.大逆転(5～11節)

- ・王のハマンへの質問：
「栄誉を与える方法は？」
- ・「うぬぼれた」ハマンの返事：
「王のような栄誉を！」
- ・王の驚くべき応え：
「それを、モルデカイに！」
- ・ハマンの実行

4. ハマンの悲嘆(12 ~ 14節)

- ・嘆きつつ帰宅
- ・家族も嘆く：
「モルデカイに負ける」

おわりに:

すべての事柄を
働かせて益となさる
神を信じよう

「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。」

(ローマ8:28)